

平成25年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	日本語指導員派遣事業	重点評価区分	重点	担当部	教育委員会事務局
				担当課	指導室

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	平成14年度	根拠法令	—
性質区分	教育	実施形態	区単独（直営）
対象者	区立小中学校の児童・生徒		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施内容、手段、過去の改善実績等）	<p>希望者に対して、以下の二つの事業を実施する。</p> <p>1 日本語学級への通級、松上小学校、中之台小学校、高砂中学校に日本語の通級学級を置く。週3回の所属の学校の授業時間に通級学級のある学校に通い、学校生活や日常生活に適応できるよう日本語を学習実施している。</p> <p>2 通訳派遣制度 学校からの派遣申請に基づき、週2回（1回2時間）、最長64時間、在籍校に日本語通訳を派遣する。（1時間あたり3,200円） 学校（担任）と児童・生徒及び保護者との相互連絡、相談内容を通訳している。</p>		

2 施策及び事務事業目的

施策番号	施策	1901	基礎的な学力の向上を図り、生きる力を身につけながら、社会に対応できる能力を育みます
事務事業目的	日本語が十分ではない帰国児童・生徒及び外国人児童・生徒が、葛飾区立学校に入学・編入学するにあたり、日本語学級への通級、日本語通訳を活用することにより、学校への早期適応を促進する。		

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
派遣終了時の児童・生徒の日本語の理解度（アンケート調査による）	—	%	目標	80	75	75
			実績	69	85	77
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
通訳を派遣した児童・生徒数	—	人	目標	50	50	50
			実績	93	56	63
日本語学級への通級児童・生徒数	—	人	目標	44	44	44
			実績	51	43	31
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	24年度
収入	特定財源		
	国庫支出金	千円	0
	都道府県支出金	千円	0
	その他	千円	0
	一般財源 (a)	千円	13,609
支出	直接事業費 (b)	千円	13,056
	報償費	千円	12,899
	保険料	千円	157
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		職員人件費 (c)	千円
	人件費	千円	553
		人	0.07
	再雇用職員	千円	0
		人	0.00
	間接費 (d)	千円	0
	調整額 (e)	千円	56
	減価償却費	千円	0
	金利	千円	0
	退職給与引当	千円	56
	(控) コスト対象外	千円	0
	トータルコスト (f) (b+c+d+e)	千円	13,665

4 単位あたりコスト

項目	単位	24年度
単位の定義		延べ参加者数（通訳を派遣した児童・生徒数、日本語学級への通級）
実績数値 (g)	人	94
単位あたり区単コスト (a/g)	円	144,777
単位あたりコスト (f/g)	円	145,372

平成25年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	日本語指導員派遣事業	担当部	教育委員会事務局
		担当課	指導室

過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	日本語が十分ではない帰国児童・生徒及び外国人児童・生徒に対して、在籍校への通訳派遣や日本語学級への通級指導において、学校生活や日常生活に適応できるよう日本語を学習することで、学校への早期適応が図られている。		
今後の方向性	改善	日本語の習得に関して、学習の年齢や本人の能力により個人差がみられる。そのため、一律的に通訳派遣を行うだけではなく、児童・生徒の発達段階に応じた日本語指導が必要であり、そのためのカリキュラムの開発が求められる。	
	継続		

「今後の方向性」に基づく取組内容

1 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	25年度	26年度	27年度
			目標			
			目標			

2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度
				目標			
				目標			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;"> 行政評価委員会の意見や予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載し、区民に公表します。 </div>				目標			
				目標			

平成24年度 日本語指導員 実績資料

別紙 1

双葉中	タイ語
双葉中	タイ語
上千葉小	中国語(北京語)
上千葉小	タガログ語
宝木塚小	タイ語
二上小	中国語
こすげ小	中国語
亀有中	英語
綾南小	中国語
東金町小	タイ語・英語
新小岩中	中国語
小松南小	中国語
本田小	英語
幸田小	英語・タガログ語
奥戸中	中国語
上小松小	中国語
こすげ小	中国語
小松南小	中国語
小松南小	中国語
大道中	英語
小松南小	中国語
双葉中	中国語
堀切小	タイ語
二上小	中国語
二上小	中国語
二上小	中国語
二上小	中国語
中之台小	英語
梅田小	中国語
梅田小	中国語
小松南小	ベトナム語
新小岩中	中国語
川端小	中国語
双葉中	タガログ語
飯塚小	英語・タガログ語
飯塚小	英語・タガログ語
葛美中	スペイン語
堀切小	タイ語
金町中	北京語
こすげ小	中国語
小松南小	中国語
白鳥小	タガログ語
原田小	中国語
青戸中	タガログ語
新小岩中	中国語
白鳥小	タガログ語
松上小	英語・タガログ語
東金町小	中国語
花の木小	英語
小松南小	タガログ語
高砂中	中国語
宝木塚小	中国語
双葉中	中国語
松上小	中国語
川端小	中国語
花の木小	中国語
花の木小	中国語
小松南小	中国語
小松中	中国語
幸田小	中国語
小松中	中国語
上千葉小	中国語
綾南小	タガログ語・英語

英語	5
英語・タガログ語	4
スペイン語	1
タイ語	5
タイ語・英語	1
タガログ語	6
タガログ語・英語	1
中国語	37
中国語(北京語)	1
北京語	1
ベトナム語	1
合計	63

予算
21,504,000

(小中学校別)

財務起票	支出額	中学校分	小学校	延べ人数
4月	848,000	243,200	604,800	21
5月	1,072,000	336,000	736,000	27
6月	1,232,000	384,000	848,000	27
7月	812,800	268,800	544,000	27
8月	252,800	96,000	156,800	18
9月	1,228,800	348,800	880,000	35
10月	1,475,200	467,200	1,008,000	33
11月	1,411,200	489,600	921,600	39
12月	995,200	336,000	659,200	34
1月	998,400	332,800	665,600	35
2月	1,376,000	441,600	934,400	37
3月	1,196,800	310,400	886,400	40
	12,899,200	4,054,400	8,844,800	373

(日本語学級・個別申請別)

財務起票	支出額	日本語学級	個別申請
4月	848,000	249,600	598,400
5月	1,072,000	316,800	755,200
6月	1,232,000	310,400	921,600
7月	812,800	204,800	608,000
8月	252,800	38,400	214,400
9月	1,228,800	265,600	963,200
10月	1,475,200	332,800	1,142,400
11月	1,411,200	297,600	1,113,600
12月	995,200	211,200	784,000
1月	998,400	233,600	764,800
2月	1,376,000	217,600	1,158,400
3月	1,196,800	182,400	1,014,400

日本語学級設置校 (894時間) (3,137時間)

中之台小 220時間
松上小 262時間
高砂中 252時間
双葉中(夜間) 160時間
開設日 小学校:火・水・金 中学校:月・水・木
学習内容 日本語学習・生活習慣学習・補充学習

平成24年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	日本語指導員派遣事業	重点評価 区分	—	担当部	教育委員会事務局
				担当課	指導室

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	平成14年度	根拠法令	—
性質区分	教育	実施形態	区単独（直営）
対象者	区立小中学校の児童・生徒		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施 内容、手段、過去 の改善実績等）	<p>希望者に対して、以下の二つの事業を実施する。</p> <p>1 日本語学級への通級、松上小学校、中之台小学校、高砂中学校に日本語の通級学級を置く。週3回の所属の学校の授業時間に通級学級のある学校に通い、学校生活や日常生活に適応できるよう日本語を学習実施している。</p> <p>2 通訳派遣制度 学校からの派遣申請に基づき、週2回（1回2時間）、最長64時間、在籍校に日本語通訳を派遣する。（1時間あたり3,200円） 学校（担任）と児童・生徒及び保護者との相互連絡、相談内容を通訳している。</p>		

2 施策及び事務事業意図

施策	名称	確かな学力の定着
	意図	生きる力や基礎的な学力を身に付けながら、社会に対応できる能力を育てている。
事務事業意図	日本語が十分ではない帰国児童・生徒及び外国人児童・生徒が、葛飾区立学校に入学・編入するにあたり、日本語学級への通級、日本語通訳を活用することにより、学校への早期適応を促進する。	

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
派遣終了時の児童・生徒の日本語の理解度（アンケート調査による）	—	%	目標	72.00	80.00	75.00
			実績	78.57	71.79	73.00
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
通訳を派遣した児童・生徒数	—	人	目標	50	50	50
			実績	86	93	56
日本語学級への通級児童・生徒数	—	人	目標	44	44	44
			実績	50	51	43
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	21年度	22年度	23年度
収入	特定財源				
	国庫支出金	千円	0	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源 (a)	千円	22,755	17,050	11,565
支出	直接事業費 (b)	千円	22,188	16,483	11,005
	報償費	千円	22,188	16,483	10,848
	保険料	千円	0	0	157
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
	職員人件費 (c)	千円	567	567	560
	人件費	千円	567	567	560
		人	0.07	0.07	0.07
	再雇用職員	千円	0	0	0
		人	0.00	0.00	0.00
	間接費 (d)	千円	0	0	0
	調整額 (e)	千円	49	63	63
	減価償却費	千円	0	0	0
金利	千円	0	0	0	
退職給与引当	千円	49	63	63	
(控)コスト対象外	千円	0	0	0	
トータルコスト (f) (b+c+d+e)		千円	22,804	17,113	11,628

4 単位あたりコスト

項目	単位	21年度	22年度	23年度
単位の定義		延べ参加者数（通訳を派遣した児童・生徒数、日本語学級への通級）		
実績数値 (g)	人	136	144	99
単位あたり区単コスト (a/g)	円	167,316	118,403	116,818
単位あたりコスト (f/g)	円	167,676	118,840	117,455